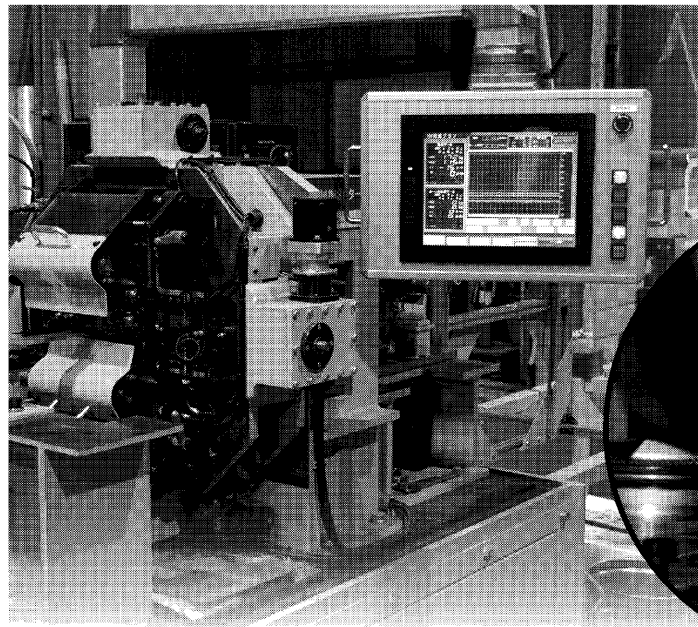


線材加工機と関連製品

線材加工機とは、線材を塑性加工で目的の形状に仕上げる各種機械。各工程や用途に応じて活躍している。線材加工機の種類は圧延ロール機、撚線機など多種多様で、これらの加工機を通して作られた製品は、自動車や建設物、工作機械など幅広い業界で活用され、モノづくりの現場を支えている。技術の進化に伴い高付加価値な製品の開発が進む中、線材加工の現場でも、優れた技術力と顧客の要望に合わせた対応力が求められている。



経験値から数値制御へ 圧延ノウハウの蓄積に貢献します！



NC制御3Uタークスヘッド

この製品は平角線の厚み幅寸法調整をタッチパネルから設定可能です。圧下4軸とスライド4軸の、全8軸を同時駆動する事で、自動運転中であっても、任意に厚み幅の圧下設定値を調整可能です。さらに、パスラインを4方向に微調整することができます。本装置は上下駆動減速機を使用したロール駆動タークスで、ご要望に応じて上下別駆動タイプやVロール駆動タイプも設計いたします。

モータトルクや圧延荷重を波形データとして残す事で、御社のノウハウ蓄積に貢献します。

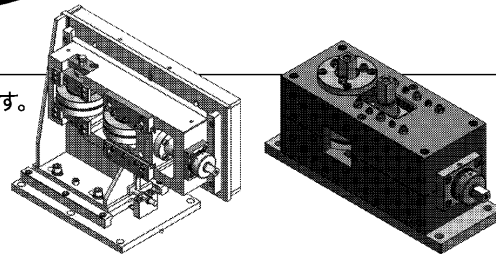


ERシリーズ 横型、高剛性タイプのエッジャー圧延機

エッジャー圧延機とは、平角線や異形線を圧延加工する際に使用する幅寸法調整ユニットです。ユニットとして販売している為、ラインに組み込みやすくタンデム圧延ラインの中で幅方向に若干の圧延を加えたい場合に活躍いたします。

ボックスタイプの高剛性エッジャー圧延機です。

高剛性エッジャー圧延機が「ボックスタイプ」となりますが、クレーンの無い環境におすすめの「オープンタイプ」も製造しております。



▶ ロール交換が容易なオープンタイプ ▶ 高剛性なボックスタイプ

正社員募集中

株式会社
ヤスオカ

〒582-0023 大阪府柏原市国分東条町4331-1
TEL.072-976-0324 E-mail: info@yasuoka.co.jp
FAX.072-976-0769 H P: www.yasuoka.co.jp



ヤスオカ

ヤスオカは7月23-25日に東京ビッグサイトで開催された「TECHNO-FRONTIER2025」の「部品加工技術展」に出展し、平角線の圧延加工技術を訴求した。

展示会では、数値制御（NC）機能を搭載した圧延機「NC制御3Uタークスヘッド」を紹介。圧下4軸とスライド4軸の全8軸を同時に駆動でき、自動運転中でも任意に厚み幅の圧下設定値を調整可能。四つのロールを使用することで圧延加工による平角線の加工を実現した。新機能として「SQLサーバー」を搭載しデータ収集機能を付与した。同社の安岡社長によると「平角線の製造はダイスを通した加工方法が一般的になっていると感じた」という。その上で「この技術を新たな工法として来場者に訴求できたのはよかった」（同）と語った。

来場者は自動車や自動車部品の製造に関わる担当者が多く、モーターの効率化・小型化に強い関心を示したようだ。生産効率向上や技能継承に対する意識も高く、こうした課題解消に同社の加工機が貢献する。



ヤスオカの圧延機「NC制御3Uタークスヘッド」がTECHNO-FRONTIER2025で展示された

特殊素材・複雑加工に異形線に対応

PR

つた機械要素部品をば 会連合会（全軽自協）の實現に向けた取り組み、自動車部品、工がまとめた2025年上期（1-6月）の新米は各業界で強く意識されている。しかし、レ線材加工機は圧延ロール機、撚線機、ワイ製品などに使われ、幅車販売台数は、前年同月比10・2%増の23期比10・2%増の234万5461台。6月ニーズがある。これに技術の進歩によって特殊な素材や複雑な断面形状の加工が求められ、線材加工もより特殊な素材や複雑な断面形状の加工が求められ、技術力と顧客ニーズに寄り添ったモノづくりが求められている。

主要な用途先の一つである自動車業界の国内前年同月比5・2%増の39万3162台で、6カ月連続で前年同月実績を上回った。一方で、脱炭素社会望に異形線加工に対応する。

丸線や角線など単純な構成の線材加工は大量生産が可能で、海外メーカーが台頭している。しかし、レ線材加工機は圧延ロール機、撚線機、ワイ製品などに使われ、幅車販売台数は、前年同月比10・2%増の234万5461台。6月ニーズがある。これに技術の進歩によって特殊な素材や複雑な断面形状の加工が求められ、線材加工もより特殊な素材や複雑な断面形状の加工が求められ、技術力と顧客ニーズに寄り添ったモノづくりが求められている。

有力企業の製品・技術